

○議長 横尾 武志君

次に3番、長島議員の一般質問を許します。長島議員。

○議員 3番 長島 毅君

3番、長島毅です。初めての一般質問になります。マスクを着用しておりますので、しっかり大きな声で臨みたいと思います。それでは、通告書に従いまして質問のほうを始めさせていただきます。

件名1、新型コロナウイルスの今後の町独自の支援策について。

芦屋町では現在までに、第1弾、第2弾、そして先日のサプライズ花火などを含めた第3弾と、芦屋町にしかできない様々な独自支援策を打ち出し、町民や事業者など全ての方々に対し、多大なる支援、援助、給付金など大変迅速な対応に対し、町内外からも大きな反響がありました。また、それらに関わられました執行部の方々、教育や福祉、そして最前線の医療の現場で奮闘されている皆様に対し、この場をお借りして改めて心からの敬意を表します。

さて、今後も長きにわたる新型コロナウイルスとの闘いが予想される中で、芦屋町でも長期的な展望での支援策などの対応が必要不可欠となってくると思われます。よって、以下の質問をいたします。

要旨1、第1弾、第2弾での商工業支援策である、農業漁業者を含む町内事業者への一律10万円の継続支援給付金がありましたが、どのくらいの事業者の申込みがあったかお尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

執行部の答弁を求めます。産業観光課長。

○産業観光課長 浮田 光二君

それではお答えいたします。町の独自支援として実施いたしました事業所事業継続支援給付金及び農業漁業者事業継続支援給付金の状況について、お答えいたします。

まず、第1弾で行いました事業所事業継続支援給付金ですが、申込みは5月15日から8月31日までで、受付件数は543件となっております。業種別の内訳ですが、商工業関係で344件、そのうち飲食店が83件、教育関係で7件、医療福祉関係で35件、サービス業その他含みまして157件となっております。

次に、第2弾で行いました農業漁業者事業継続支援給付金ですが、申込みは6月1日から8月31日までで、受付件数は89件となっております。内訳は、農業が31件、漁業が58件となっております。8月31日時点で第1弾と第2弾合わせると、合計で632件となっております。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

長島議員。

○議員 3番 長島 毅君

今、課長のお話にもあったように、芦屋町ではこれだけ多くの事業所があるということが分かりました。では、第1弾での事業所事業継続支援給付金の目的としては、当時どのようなお考えで実施されたのでしょうか。お尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

産業観光課長。

○産業観光課長 浮田 光二君

第1弾の事業所事業継続支援給付金は、国の緊急事態発令後、様々な自粛要請等に伴い影響を受けている町内の事業所に対し、事業継続のため、各事業所がその時点で必要とする費用に充てていただくことを目的に、支援給付を行うことといたしました。なお、緊急性の高い支援策ということを考え、できるだけ早く給付を行うために、短期間での審査、給付ができる内容として実施いたしました。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

長島議員。

○議員 3番 長島 毅君

当時、町内の多くの事業所は、国や県の緊急事態宣言により経済活動が自粛の流れであったため、経営の圧迫などにより、感染防止対策というよりも、固定費など様々な費用に充てていた事業所が多かったようです。

では現在、福岡県が推し進めている各施設における感染防止対策についてですが、県のホームページによりますと、「現在、県内では『接待を伴う飲食店』など飲酒を伴う店で多くのクラスターが発生しています。事業者の皆様におかれましては、引き続き、徹底した感染防止対策を実施していただきますようお願いいたします。」とうたっております。芦屋町でも多くの商店、また、飲食店やスナックがたくさんあります。町内で、既に感染防止対策を行っているところもあります。

店舗や業種によって多少の違いはありますが、感染防止対策の内容ですが、1. 従業員の検温、手指消毒やマスク着用、2. 出入口での入場、入店者のアルコール消毒液での手指消毒、3. 退店後の店内消毒、4. ソーシャルディスタンスを守った席数の減席やレイアウトの変更、5. 空気清浄機やサーキュレーター——扇風機などですね、の購入、6. 飛沫感染防止のレジ回りのビニールカーテン、カウンター席やテーブル席のつい立てやアクリル板の設置。まさに、こういうアクリル板のことですけど。しかしながら、このような対策済み店舗は一部の店舗に限られておまして、ウィズコロナ期が長くなればなるほど、いろいろな備品や設備改修に係る経費が高価

令和2年第3回定例会（長島毅議員一般質問）

となり、感染対策費がなかなか捻出できないといった事業所も多くあるようです。

近隣の市町村を例にとりますと、これらの補助金対策として、既に遠賀町では、来客型の店舗等を有する事業所に対し1店舗当たり限度額10万円、2店舗以上の場合は限度額20万円の遠賀町新型コロナウイルス感染症対策店舗設備改修等補助金、岡垣町でも同様の限度額の、新しい生活様式に対応した店づくり事業補助金をそれぞれ実施しています。また、福岡県では見直すとのことですが、実施されれば飲食店に限り5万円、北九州市でも飲食店に限り上限20万円の、感染対策の改装費などの補助や支援金を予定しております。芦屋町でもこのような適切な感染防止対策を行っている全事業者への支援金など、町独自の支援策など考える必要があるのではないかと思います。そこでお尋ねいたします。

要旨2、今後も適切な感染防止対策を行うための追加支援策が必要と思われるが、どのように考えているのかお尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

産業観光課長。

○産業観光課長 浮田 光二君

議員のお話にもあったように、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、店舗等の設備改修や備品購入など、感染予防の取組に要した経費の一部を助成する支援策につきましては、郡内では岡垣町、遠賀町で既に実施されており、近隣では北九州市でも実施されています。また、福岡県におきましては8月20日に、条件を満たす全飲食店に対し、マスクや消毒液代などとして一律5万の助成を行う予定と発表しております。

昨今、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、営業する店舗や事業所等については、各業種に応じたガイドラインの遵守、徹底が求められています。先行きの見えないコロナ禍において事業を行っていくため、感染予防、拡大防止対策については、今後、必要不可欠なものであると思います。町内におきましても、お客様などに安心して利用していただくため、さらなる感染防止対策を講じるお考えのある事業所や店舗が多くあるのではないかと思います。

このような状況も踏まえまして、適切な感染防止対策を行うための支援策の実施につきましては、対象店舗や実施内容も併せて、新型コロナウイルス感染症対策会議等におきまして今後検討させていただきたいと考えております。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

長島議員。

○議員 3番 長島 毅君

第4弾支援策として、ぜひ検討していただきたいと思います。

また、福岡県は「適切な感染防止策を行っていることが来場者や来店者にもわかるよう、感染防止宣言ステッカーや掲示用チラシを利用して、実施している感染防止策の内容を施設の入り口に掲示してください。」ともうたっております。皆さん、もう見たことがある方も多いと思いますが、現在、町内でも数店舗ですが、掲示している事業者さんもおられます。お配りしてある参考資料に印刷しておりますので、資料1のほうを御覧になってください。

こちらになります。こちらの資料の左側が感染防止宣言ステッカーです。もう1つ、右側が掲示用チラシになっております。どちらも県のホームページに掲載されております。こちらの左側の県が推進しているステッカーのほうなんですけれども、県のホームページによりますと、少し長いんですが説明させていただきます。

「1. 以下の申請フォームをクリックして、申請前確認を行います。2. 入力したメールアドレスに県からメールが届きますので、内容をご確認の上、メール内のURLから本申請の手続きをします。3. 本申請に関して、基本情報や感染防止対策チェックシートへ入力し、回答を完了させます。4. 再度、県からメールが届きますので、メール内のURLから『感染防止宣言ステッカー』を取得ください。5. 取得した『感染防止宣言ステッカー』を印刷し、店舗等の目立つところに掲示してください。」とあります。少し複雑になっているのですが、こういった電子メールのやり取りが2回、仮申請から再度本申請をするなどの手続があり、あまり慣れていない人には少し戸惑う方法になっております。

福岡県でも、飲食店に限りますが、県内飲食店4万8,000軒中、申請が9月1日現在で1万3,380件と、まだまだ申請率が非常に少ない状況です。手続のほうもそうですが、最後は自分でパソコンやプリンターを使用して印刷せねばなりません。町内の幅広い年齢層の経営者の方々には、この手続や印刷作業に戸惑う方が多いという声も聞こえております。また、申請も自己申告のため、感染対策が不十分なお店でも入手が可能であり、そのために、残念ながら福岡市のあるお店では、ステッカー掲示店にもかかわらずクラスターが発生してしまうというケースもありました。

そこで、コロナウイルス感染防止のために芦屋町独自でガイドラインをきちんと設定し、審査した上で配布する、芦屋町ならではの感染防止宣言アッシーステッカーを提案いたします。役場や商工会での申請手続の簡略化、定期的な検査の実施、事業者への「感染しない、させない」の感染防止への啓発、また、広報あしややSNSを通じて、町内外の利用者の安心した来店や来場につなげることができれば、全事業所の感染防止対策の強化と低下している経済活動の活性化の両立につながるのではないかと考えます。県は感染防止対策済み店舗を掲載したパンフレットを作ると発表しておりましたし、芦屋町でもワンチーム芦屋のシンボルでもあるアッシーで町をいっぱいにし、芦屋町民一丸となり、コロナウイルスに打ちかつための一つの起爆剤として、また、

令和2年第3回定例会（長島毅議員一般質問）

機運醸成の一つのツールとして、このステッカーをぜひ作成していただきたいと思います。

資料2のほうを御覧ください。昔からこういったのを考えるのが好きなので、ちょっと自分らしく、勝手ながら試しに作ってみました。攻撃の赤と守りの、守備の青という形で、2種類自分で作ってみたんですが、自分はこの守りの青のほうが入っています。このようなアッシーのステッカーとかいかがでしょうかと思います。分かりやすく非常にポジティブな、前向きな感じが出ているのではないかと思います。このアッシーステッカーと今後の支援策で町の人を笑顔にしていけたらと思っています。

そこで、町独自のアイデアで、ガイドラインを遵守し適切な対策を行っている事業者へ、町独自の感染防止対策済みアッシーステッカーを配布してはどうかお尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

産業観光課長。

○産業観光課長 浮田 光二君

今、議員のお話のとおり、現在、福岡県におきまして、業種別のガイドラインに沿った感染防止対策を実施している事業所等に対し、ウェブ申請により感染防止宣言ステッカーを配布する事業が進められております。このステッカーを掲示することで、店舗としましてはお客様が安心して利用できる施設であることをお知らせすることができますし、来店されるお客様へも安心感を与える効果があると思います。また、先ほど少し触れましたが、福岡県は8月20日、県内の新型コロナウイルスの感染防止対策を講じ、県の感染防止宣言ステッカーを掲示する全ての飲食店にマスクや消毒液代などとして一律5万円を助成するとし、県議会9月定例会に補正予算案として計上する予定であると発表しております。

このような状況も考えまして、担当課としましては現時点で町独自のステッカーを作成する予定はございませんが、現在推進されております福岡県の感染防止宣言ステッカーの配布事業及び、予定されております感染対策への助成事業、こちらが実施されれば、その活用も含めて関係団体とも協力し、町内事業者等への申請の呼びかけなど、周知に力を入れたいと考えております。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

長島議員。

○議員 3番 長島 毅君

私、まだまだ地域おこしの気持ちを忘れておりません。今年は芦屋町ならではのたくさんのイベントもできずに、アッシー君の活躍の場もすっかりなくなってしまい、町の皆さんが今アッシーはどうしているのか心配していらっしゃるのではないかと思います。今こそアッシーに活躍の場を与えていただきたかったのですが、予算の問題もあるでしょうし、なかなか難しいようです。た

令和2年第3回定例会（長島毅議員一般質問）

だ、こちらの県のステッカーは飲食店しか申請できませんので、芦屋町内全事業所の機運醸成のためにも、アッシーステッカーを引き続き検討していただければと思います。

確かに、県は8月20日の段階では、ステッカー掲示を条件として1店舗当たり5万円、複数店舗を運営している店舗に10万円の感染防止対策費を助成する方針を示しております。ただいま課長も答弁されましたように、県のステッカーの活用を推奨するとのことでしたので、今後申請される方も増えてくると思います。先ほど申しましたように、こちらは自己申告制です。ウェブ申請の不得意な方やパソコン環境のない方々も多くいらっしゃいますので、できるだけ多くの飲食店が県の助成を受けられるよう、ぜひ担当課などでサポートデスクや相談窓口を設け、手続などの補助をしていただきたいと思います。いかがでしょうか。お尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

産業観光課長。

○産業観光課長 浮田 光二君

議員が先ほどおっしゃったとおり、県への申請手続はパソコンなどにより申請フォームを使うで行う必要がございます。内容を確認したところ、申請に当たっては申請前確認として各項目への同意やメールアドレスの登録、その後、本申請のためのメールの受け取りや基本情報及び感染防止対策チェックシートへの入力、その後、感染防止宣言ステッカーの取得など、数回パソコンなどでのやり取りが必要になります。確かに、不慣れな方にとっては戸惑う場面もあろうかと思えます。担当課としましては、申請にお困りになっている方への対応について、先ほどお話しいたしました感染防止宣言ステッカー等の活用の周知と併せ、お知らせしていきたいと考えております。また今後、対応や相談先などについて検討をさせていただきたいと考えております。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

長島議員。

○議員 3番 長島 毅君

芦屋町には高齢者の方もたくさんいらっしゃいます。当然、どこからもクラスターなど発生させてはいけません。今後も、終わりの見えない長きにわたる新型コロナウイルス感染症との闘いになることが予想されます。コロナ禍と呼ばれる現在、そして、未来へ向けた町長としての骨太な決意を、朝一番の答弁で聞かせていただきました。

現在、芦屋町には近隣市町村からも評価されている支援策がたくさんあります。今日まで、これ以上ないほど独自支援策を打ち出してくれました芦屋町に対し、今後のウィズコロナ期、そして来るべきアフターコロナ期に向けた、よりよき支援策をさらに期待し、また、新型コロナウイルス感染症の早期沈静化を強く強く祈念いたしまして、人に町に心に寄り添う、私、長島毅の一

令和2年第3回定例会（長島毅議員一般質問）

般質問を終わりたいと思います。ありがとうございました。

○議長 横尾 武志君

長島議員、町長に何か聞きたいことはないですか。

○議員 3番 長島 毅君

よろしいですか。

○議長 横尾 武志君

よろしい。

○議員 3番 長島 毅君

それでは、私が考えたアッシーステッカーについて、町長のお考えがあればお聞かせください。

○議長 横尾 武志君

町長。

○町長 波多野茂丸君

いやいや。今日ここに来て初めて、これはあまり見たことないんで。長島議員が独自で作られた、これ本当に非常によく出来ているなと思って。アッシー君入れてですね、色合いといいですね。これはまた、何人かにコロナ対策の御質問いただいたわけですが、この件も関しまして、今、第4次のいろんなコロナ対策、支援策等々も入れておりますので、ぜひ採用できればですね。これ、何とか権ってあるやん。個人が作ったやつは。（「著作権」と呼ぶ者あり）著作権、これ著作権あるんですかね。

○議員 3番 長島 毅君

自分にですか。

○町長 波多野茂丸君

そう。あなたが作ったんでしょ。

○議員 3番 長島 毅君

あ、著作権はあります。

○町長 波多野茂丸君

ない。

○議員 3番 長島 毅君

あ、ないです。

○町長 波多野茂丸君

ないね。はい。それを確認いたしましたんで、そのことも併せて参考とさせていただきたいと思います。

以上でございます。

令和2年第3回定例会（長島毅議員一般質問）

○議長 横尾 武志君

それでは、長島議員の一般質問は終わります。